

# 前塾のご紹介

—入塾にあたって



～はじめに～

塾選びで重要なことは「自分にあっているか」。

そのために検討中の塾について色々と調べていると思いますが、

前塾を一言で表すなら

「生徒の自立を促し、

自学自習の効率を最大化する塾」

です。

# 「生徒の自立を促し、自学自習の効率を最大化する塾」

これは本校の理念が濃縮された言葉です。

この言葉を本当の意味でご理解いただくために本校の特徴を8つのThemeに沿ってご紹介します。

Theme1 : ジリツの促進

---

Theme2 : メンタリング

---

Theme3 : 独学管理 (24時間LINEサポート等)

---

Theme4 : 科目授業

---

Theme5 : 使えるものは使う

---

Theme6 : オンラインの利点と意義

---

Theme7 : ネット上の学習資源を活用

---

Theme8 : セルフマネジメント力をつける

---

また、各Themaの前には主任講師による受験に関するCOLUMNを記載しています。本校の考え・目指す姿をさらに認識いただけますので、あわせてご確認ください。

# COLUMN1～受験の性質～

日本における受験は、出題範囲の定まったペーパーテストの点数が競われます。要するに合格者最低点を取る実力をつけられれば合格できるわけです。また、授業時間よりその他の時間の方が圧倒的に多いので、その他の時間での自学自習が成績に最も大きな影響を及ぼします。そのため、自学自習においてすべきことを正しい方法でこなせば、受験はそれほど難しい話ではないのです。

とはいうものの、成績が伸びずに苦戦する人が多くいるのが現状です。その原因は「勉強量が少ない・勉強方針が迷走している」の二つに大きく分けられます。これらは2つともジリツしていれば達成できることですが、ジリツしていない学生にとっては難易度が高いです。



また、小学校から名門中高一貫校というエリートコースを歩む学生は圧倒的な勉強量はもちろんのこと、学校と塾で受験のプロの指導を受けることで、合格を自然と勝ち取っていきます。

先取り学習と「周りが皆んな東大/京大/医学部に行くから僕も行くんだ」という意識から、彼らはジリツ性が問題になることは少ないのです。

では、受験におけるジリツとはなんなのでしょうか？



# Theme1 :

## ジリツの促進

本校は生徒がジリツすることを重要視しています。  
その最たる理由はジリツが受験において根幹ともいえる部分であるためです。  
なお、ここでの「ジリツ（自立・自律）」の定義は、次のとおりです。

- ◆ 心身が安定していて、自らを客観視することができる
- ◆ 目標に対して一人で計画を練り試行錯誤できる
- ◆ 試行錯誤により幾つもの問題解決を繰り返し、確実に目標へと近づくことができる

つまり

「ジリツ」は

①心身の健康

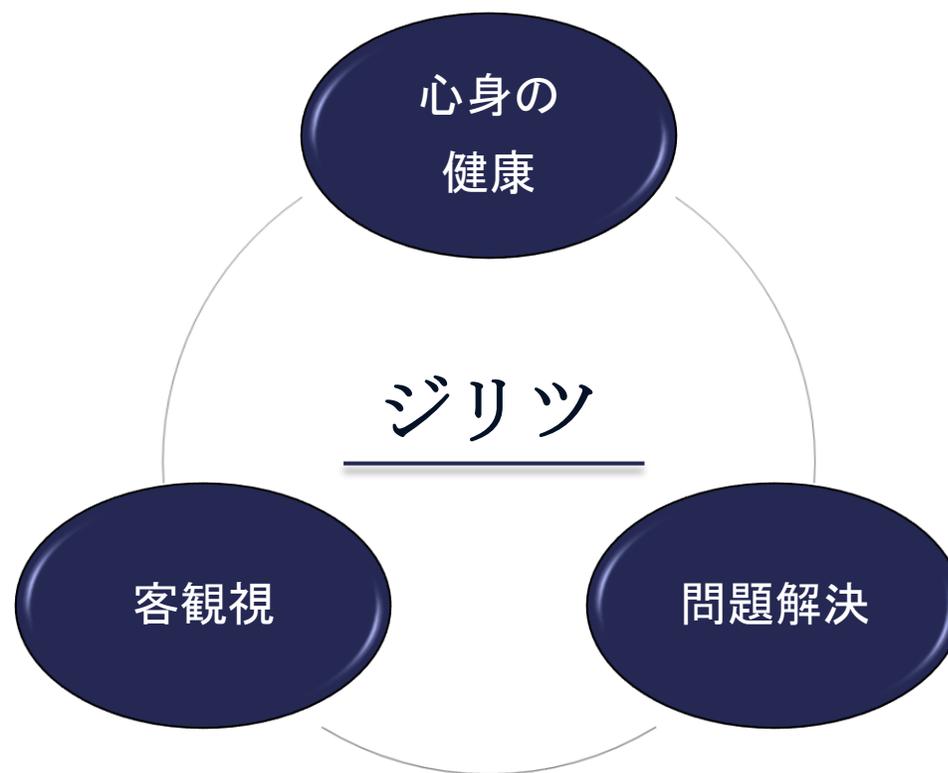
②客観視

③問題解決

三要素からなります。

# Theme1： ジリツの促進

受験で逆転合格をするためには、  
「既にジリツしている」または「サポートを受けながらジリツしていく」かの  
どちらかの状態であることが必要です。



本校では生徒のジリツをサポートおよび促進するメソッドがあり、  
講師が生徒一人ひとりの特性にあわせて最適な方法でバックアップします。

では、その詳しい内容を次のTheme2～4でお話していきます。

## COLUMN2～ジリツの重要性～

ここで身近な具体例を交えてジリツの重要性を再度お伝えしておきます。

日本では毎日シャワー（お風呂）をするのが当たり前なので、皆さんも基本的に毎日しますよね。

一方、国によっては毎日シャワー（お風呂）をすることが可能になったとしても、おそらく直ぐには毎日しないでしょう。当たり前でないという意識がその実行と習慣化を阻害するのです。

そういった**当たり前でない**と**思っている行為を習慣化したい**と思った時に打ち当たる大きな壁が「**自己のジリツの程度**」です。

実生活においても禁煙、ダイエット、部屋の掃除や日々の運動など大切だと分かっているものの、なかなか習慣化出来ずに悩んでいる方も多いのではないのでしょうか？

さて、**COLUMN1**と繋げて考えて頂ければ、受験においても同様の現象が起きていることが見えてくると思います。

ジリツを鍛え上げるということは、受験の上で非常に重要であること、そして、将来に対しても間違いなく大きな効果を及ぼすことになるのです。

ただし、ジリツするという目標を達成するには、「ジリツしている」＝「心身が安定していて、自らを客観視することができ、目標に対して一人で計画を練り試行錯誤によって幾つもの問題解決を繰り返し、確実に目標へと近づいていく能力がある」必要があります。

そのため、ジリツしていない人が他の人からの助けなしでジリツすることはかなり難しいのです。



## Theme2 : メンタリング

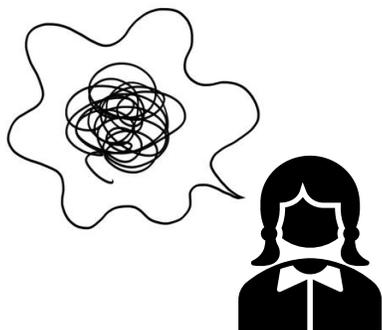
ジリツ促進の一環として本校ではメンタルケアも重要視しています。

※モチベーション維持・学習習慣作り・ケアレスミスへの対策など含む。

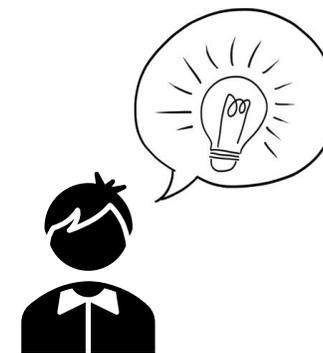
入試本番という精神的に極限状態になりやすい場面で、パニックに陥った場合、その後冷静に対処できるのか、それともそのままドミノ倒しのごとく崩壊するのかといったことは精神性が大きく関わります。

そのため、本校ではあらゆる物事の根底にある

「精神力」「認識力」の向上を目指し、メンタルケアを行います。



「精神力」「認識力」が不足していると  
入試本番でパニックから復帰できない



「精神力」「認識力」が十分にある場合、  
未知の問題にも冷静に対応できる

## ～本校のメンタリングの特徴～

① 講師が、

客観的事実・生徒の主観・講師の主観の三つを明確に区別

② 生徒の性格や周囲の環境など違いを考慮し、

独自のメンタリングを完全1:1 で実施

③ 答えを直ぐに与えず生徒の主体性と思考力を伸ばし、

ジリツを促進

— その問題の答えではなく、解決方法や思考回路・発想法の理解を促す。

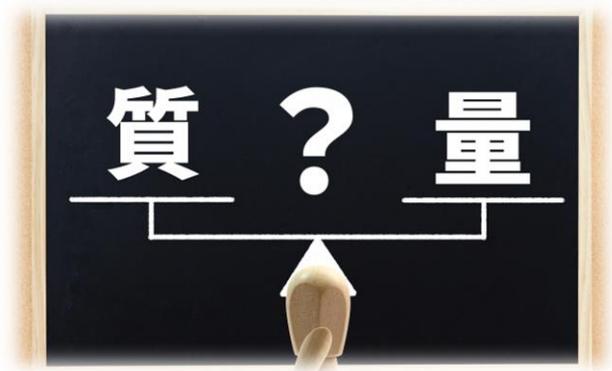
④ 意識改革

## COLUMN3～自学自習の重要性～

**COLUMN1**で「授業時間よりその他の時間の方が圧倒的に多いので、その他の時間での自学自習が成績に最も大きな影響を及ぼします。」と言いました。

これは完全1:1でプロ講師が毎日一日中付きっきりで指導できれば、自学自習の時間はほぼゼロになるので重要でないこととなりますが、現実的には難しいですね。

そのため、ほぼすべての受験生にとって自学自習が合否を分ける要因になるのです。



自学自習において、良し悪しを評価する基準として「量と質」が挙げられます。

どちらが重要かという話は一概には言えませんが、本校では「量と質」どちらも重要と考えています。

Theme3 :  
独学管理  
(24時間LINE  
サポート等)

次に、独学管理 についてです。

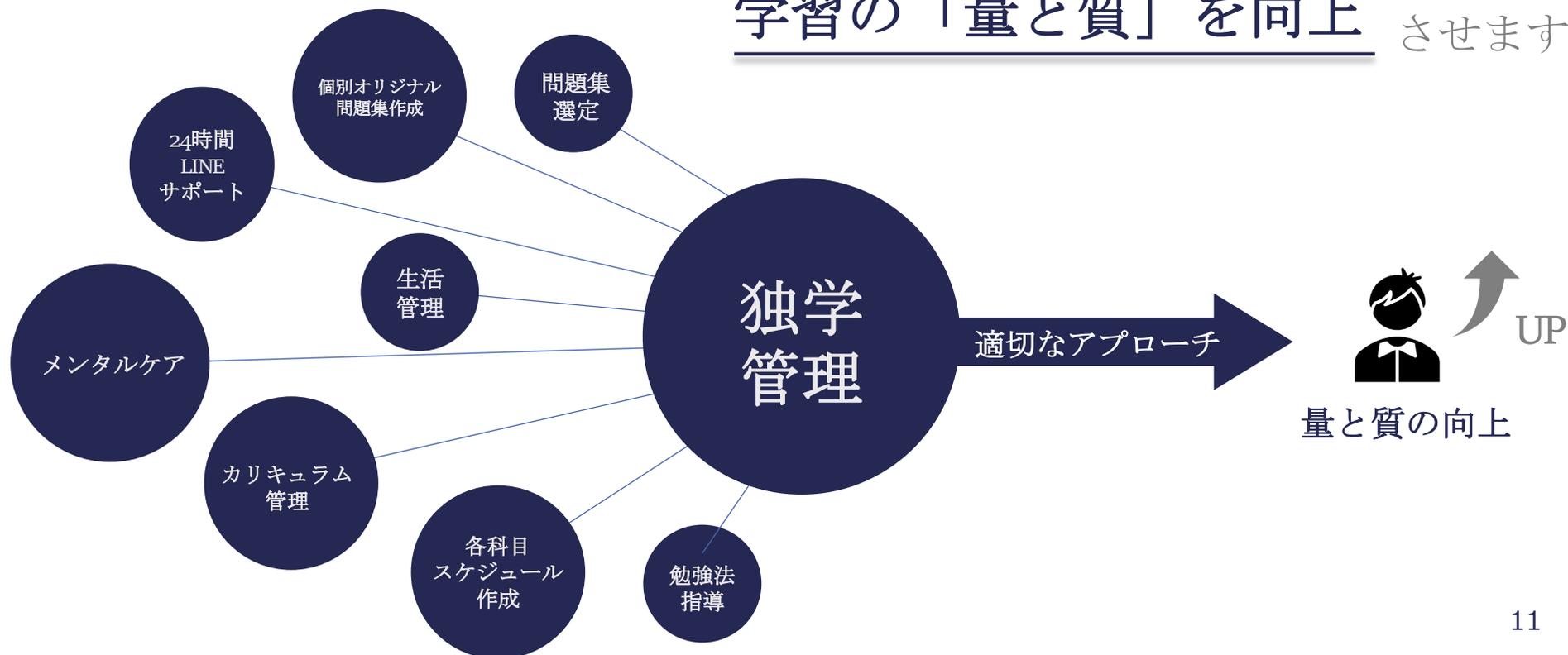
まず本校の自学自習において、「量と質」の定義は以下のとおりです。

量：勉強時間を表す

質：一時間の勉強でどれだけ合格に近づくことができたか、  
効果的な勉強ができたのか、を表す

本校の独学管理は生徒一人一人にあわせて様々な手法を用いることで

学習の「量と質」を向上 させます。



# Theme3 : 独学管理 (24時間LINE サポート等)

前項のメンタリングは週一コマの面談（基本）を軸としていますが、本校ではあわせて 24時間のLINEサポート を行っています。

これによりいつでも講師に気軽に連絡することができ、講師と生徒との相互理解の大きな手助けになります。

また、本人の了承の上で生徒のSNSなどを教えて頂くことがあります。これは指導において生徒の性格やリアルタイムでの精神状況・生活状況を把握することに役立ちます。



さらに「宿題」の回答を事前に24時間LINEサポートで提出することで、

科目授業の際にすぐに本題に入ることができます。

## COLUMN4～大手、一般塾・予備校の宣伝文句～



様々な塾・予備校が宣伝文句として単なる綺麗事や保護者と生徒を騙すようなやり口が一部見受けられます。

そのため塾・予備校の紹介文を見て「どうせ宣伝文句でしょ」と感じたことのある方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？

悲しいことに、おそらくその感覚は正しいことが多いです。

実際、一部の大手、一般的な塾・予備校では、規模が大きいため当初の理念が消えていたり、紋切り型の科目授業のみを押し進めたり、成績が伸びない生徒に対して「頑張れ」と言うだけで終わってしまっていたりします。

要するに生徒一人一人と個別で向き合うことをしないのです。

これではジリツしている子は伸びますが、ジリツしていない子は伸びません。  
そのため、ジリツしていない子にとっては、「伸びる！伸びる！！」などの宣伝文句は虚言のようなものです



## Theme4: 科目授業

科目授業とは、講師が扱う教材を設定し、それに沿って行う授業のことですが、本校では教材を各生徒それぞれに対して独自に対応・作成しています。

この科目授業における目的は以下の3つです。

### ① 記述対策

記述式の問題では論理力・語彙力など文章力を様々な角度から同時に求められるため、生徒一人一人に個別で手厚い添削指導を行う。

### ② 自学自習だけでは理解できない部分の補足

生徒一人一人は思考の癖が異なるため、それぞれにあった個別指導により時間的効率の向上を行う。

### ③ 学習効果の向上

解答プロセスを講師に共有し適切なアドバイスを受けることで、学習効果の向上を行う。  
(詳細は[Theme6](#))

## ～前半 Theme1-4のまとめ①～

本校はメンタリングを中心とした独学管理により 生徒のジリツを促進 し、

勉強法指導などあらゆる手法を用いて 自学自習の効率を最大化 します。

また、自学自習では補えない事柄に関しては科目授業を行い、

逆に個人が自学自習として行うべき事柄は宿題として実施いただきます。

## ～前半 Theme1-4のまとめ②～

受験勉強はどの科目においても

「初見・未知の問題に対処する力をつける」 ということに他なりません。

その問題解決能力の根幹を鍛えていくということは、

「日常における問題への思考力」 や「勉強に対する能動性」、

「勉強体力」の向上 に繋がります。

# COLUMN5 ～集団指導と個別指導～

集団指導と個別指導（完全1:1）のメリット・デメリットについて客観的な事実を紹介します。

## メリット

## デメリット

集団指導

- ①仲間を多く作れる
- ②講師がプロである

- ①一方通行授業
- ②生徒の個性を正しく把握できない
- ③疑問が生まれてもその場で質問できない
- ④講師の意図(教えたこと)が正しく伝わらない

個別指導

- ①一人一人としっかり向き合う時間がとれる
- ②質疑応答を軸とした双方向授業が可能
- ③生徒の個性や長所・短所を講師が正確に把握できる
- ④疑問が生まれればその場で直ぐに質問できる

- ①講師と生徒だけなので、視野が狭くなる
- ②集団指導に比べるとプロでない講師が多い  
(大学生アルバイトなど)

本校

プロの講師による個別指導のメリットを生かしつつ、LINEやZoomにて集団学習もカバー

## Theme5: 使えるものは使う

本校では

時間面でも金銭面でもコストパフォーマンスを最大化するために

「使えるものは使う」というモットーがあります。

おもな活用ツール例

### ① LINE

└ 24時間LINEサポート

### ② Zoom

└ メンタリング・科目授業・オンライン自習室

### ③ SNS

└ 生徒のリアルタイムで変動し続ける性格・精神状況・考え方の癖・  
周囲の環境などの情報収集・活用

### ④ 一般提供（有償・無償）されている学習資源

└ 生徒一人一人に合う形で必要に応じて活用

# COLUMN6 ～受験における地域格差～

受験における地域格差をご存じですか？

様々な要因があり一括りに話せませんが、大きなものを1つあげるとすると、「情報」の差です。

ここでいう「情報」とは、受験に関する知識・経験のことです。世の中はインターネットが普及し、知りたいと思った情報は手軽に入手できますが、その反面、「信憑性」に疑問があります。

普通の学生が東大を受験しようと考えて「情報」を入手しても、正しい知識や経験がないため、信憑性を判断できません。

しかし、都市部の名門中高一貫校の場合は自然と正しい「情報」が、能動的に動かずとも手に入れることができるのです。

本校では、オンライン校のメリットを活かし都市部以外の学生や近くにハイレベルな受験に対応した塾がない学生に対しても東大受験経験のあるプロの講師が受験における正しい「情報」をお伝えすることができます。

受験に関する正しい「情報」を知りえないまま、「やっぱり東大受験なんてできない」という判断をしてしまうのは、とても勿体ないことです。

誰もが東大合格の可能性を秘めています。まずは正しい「情報」を入手するところから始めましょう。



## Theme6: オンラインの 利点と意義

本校ではオンライン形式での授業を行っていますが、  
ここでオンラインならではの利点と意義をお伝えします。

利点 ≫

### ①科目授業における学習効果の向上

└ オンライン独自の指導としてスマホ・タブレットスタンドなどを活用することで、  
解答プロセスを講師が把握でき、適切なアドバイスを受けることが可能。  
生徒が自分で気づけない問題点を講師が発見することで指導・学習の質の向上につながる。

### ②良質な指導を低価格で提供

└ リアルの教室を持たないことで授業料から不動産関連経費を削減可能。  
授業料のほぼ100%を生徒の指導に当てることが出来る。

### ③時間の有効活用

└ オンラインにすることで受験における貴重な時間を通塾に使う必要がなくなり、  
学習時間に充てることができる。

意義 ≫

### ①ロケーションに関係なく指導が受けられる

└ 日本全国どこにいても受けたい講義・指導を生徒が選び、受講することができる。

# COLUMN7～受験業界のお金事情～

保護者の方にとっては特に大事な話ですよ。

払ったお金に見合わないサービスしか受けられないのであれば、お金を払いたくないというのは尤もな意見ですので、あえてこの話をします。

とはいえ、受験業界のお金事情を事細かに説明するとなると主旨から離れてしまうので、ここでは2つだけ紹介します。

## ①塾における必要経費

リアルの校舎を持つ塾は不動産関連の必要経費が発生するため、授業料から賄うことになります。

## ②塾における利益率の考え

個別指導といいながら、1:2や1:3で指導することで利益率を上げている塾・予備校があります。これにより単純に一コマの価格を割安にできますが、生徒・保護者の立場から見て、割高であることが多いです。

理由は「個別指導のメリット」を半減させることになるからです。

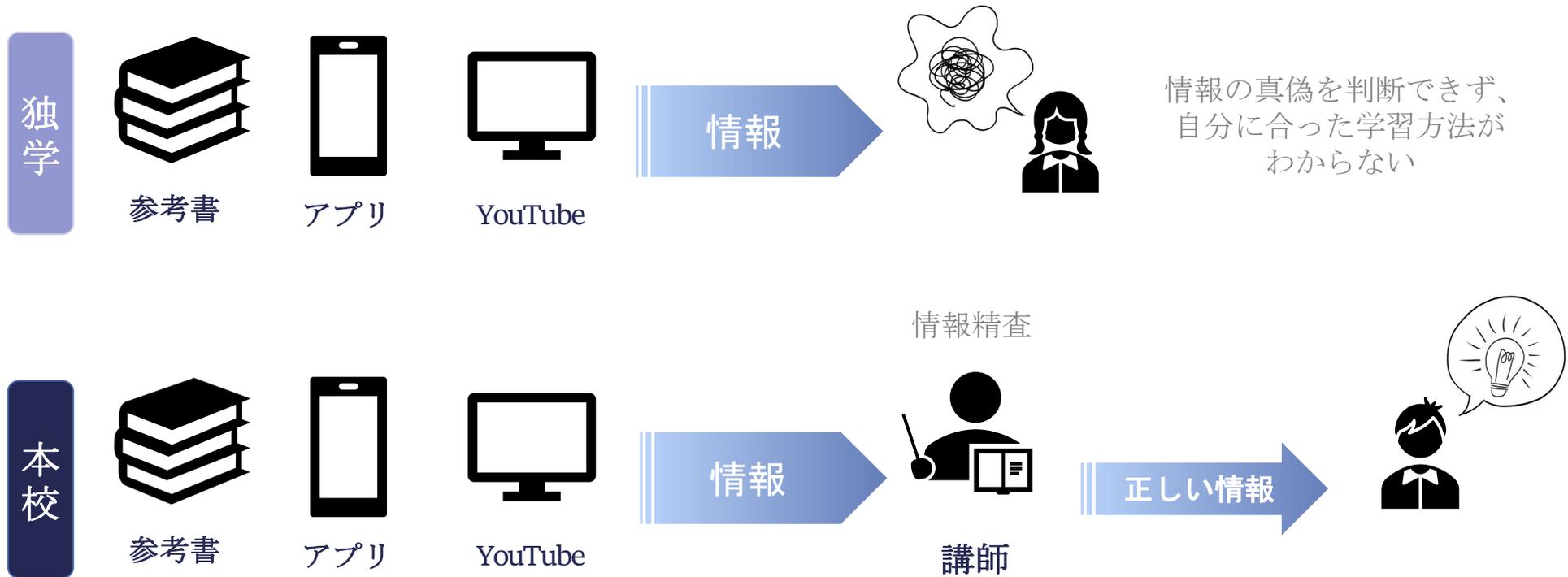
生徒が二人であれば、一人当たりに講師が使える時間も熱量も当然半減しますね。



# Theme7: ネット上の 学習資源を活用

現在、世の中には素晴らしい参考書やアプリが多く存在し、YouTubeでは質の高い授業を無料で見ることができます。

そのため塾・予備校の分かりやすい授業の価値は下がりつつあり、代わりに、独学における情報の「真偽」を受験初心者たる学生に伝えることが重要になっています。



## COLUMN8 ～過度な単純化による弊害～

「過度な単純化」とは、事柄の認識を大きく誤り、ネガティブな思い込みをしてしまうことです。これによる弊害について、受験に関連する2つの例で紹介します。

### 具体例1:自分自身の限界に対する過度な単純化（思い込み）

「自分の(今の)成績が悪いので、東大に入る能力がないんだ」という思い込みにより、東大受験をあきらめてしまうパターンです。

本来もっと成長出来た部分を成長せずにそのままにしてしまう人は多く見かけられます。

これは受験勉強に限らず様々な場面で似た現象が起こっていますが、その思考から抜け出して頂きたいです。本校のメンタリングではこういった意識改革も行なっています。

### 具体例2:勉強の方法に対する過度な単純化（思い込み）

自分にあった勉強の「質」を上げる方法（勉強法）が分からず、独学では成績があがらないという思い込みです。世の中には多くの勉強法が存在しますが、一人ひとりスタートライン（学力・思考パターン・性格・環境）が異なるため、この方法で勉強すれば絶対受かるといったものではありません。

本校は生徒一人ひとりの変動し続ける性格・精神状況・考え方の癖・周囲の環境など個別具体的な要素を重要視し、それらをリアルタイムで分析、これを元に長期的な効率を追求しつつ堅実な指導を行っています。

## Theme8:

### セルフ マネジメント力をつける

不登校や引きこもりの学生の方に伝えたいことがあります。

人は所属するコミュニティが多いほど精神は安定するものですが、学生はそもそもコミュニティ（家・学校・習い事）が限られています。

そのうえ様々な事情、理由により不登校や引きこもりになってしまった場合、視野が狭くなってしまい、人生に絶望しているかもしれません。

**ですが、実は悲観する必要はまったくないのです。**

中学までは義務教育、高校進学が当たり前になっていますが  
大学進学を目指すなら高卒認定という方法もあり

高1の年齢に高卒認定をとって、残りを受験勉強にあてることができます。  
※そもそも内申や出席日数がなくても私学や通信制などの学校に高校進学可能

さらに最近は大学にも通信制があり進学自体は難しいことではないのです。

ただし、往々にして通信制はジリツ（自学自習）の力が必要ですし、  
どのような大学に進学するにしてもジリツ（自学自習）の力がなければ  
入ったはいいものの授業についていけないといった結果を招きます。

また、ジリツはセルフマネジメント力とも言い換えることができますが、  
これは受験以外にも応用がききます。

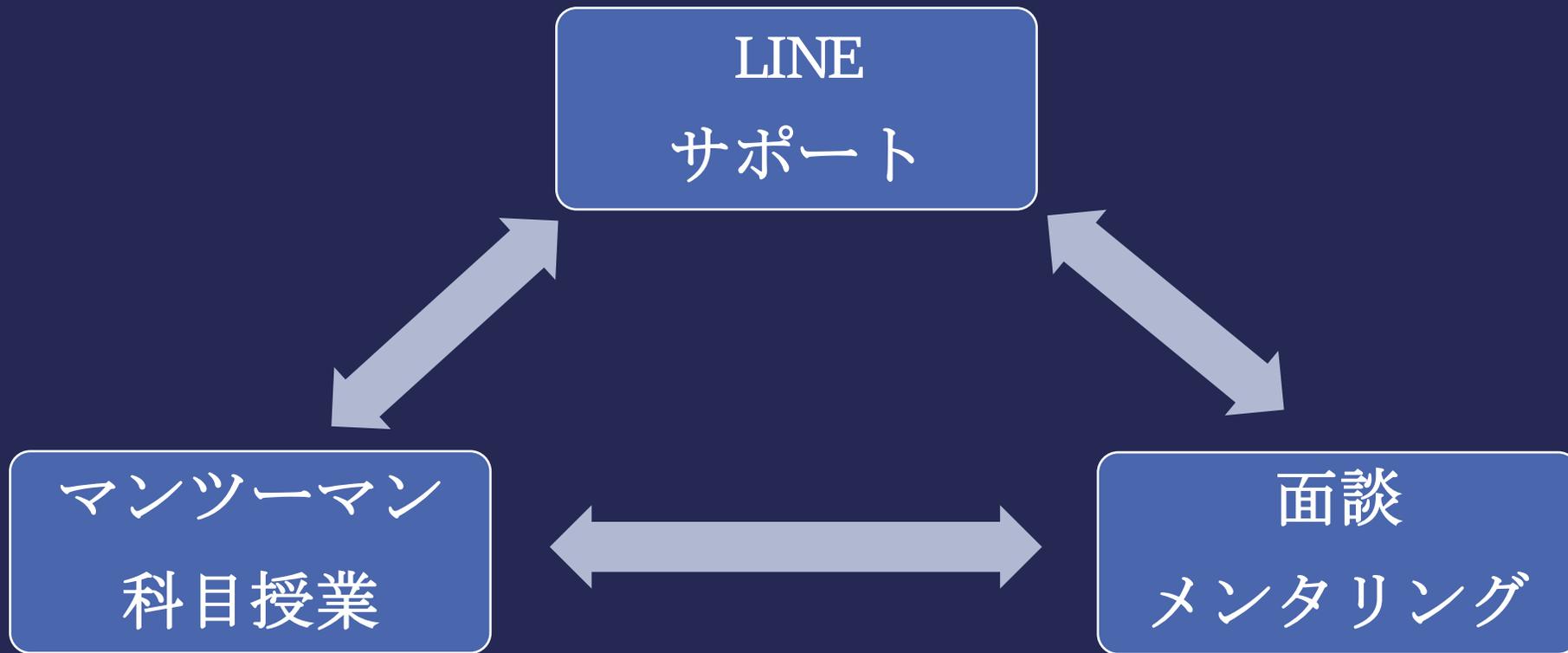
**つまり受験は人生を生きる力を身につけるといふことに他ならないのです。**

**現状を悲観せず、一緒に「受験」で人生をかえましょう。**

～まとめ～

# 本校の授業の3要素

講師が個々の自学自習カリキュラムを作成。  
内容について、いつでも講師に質問でき、  
疑問点を残さないことで学習効果をアップ。



個々に合わせたオリジナルテキストに基づき、  
自学自習で理解できなかった部分をフォロー。  
多角的な力が求められる記述問題は  
志望校の採点基準にあわせることで効果的に。

受験や日常におけるストレスとの向き合い方、  
考え方の意識改革を実施し  
ジリツを促進。  
受験に強いメンタルを醸成。

ここまで読んでいただき、本当にありがとうございました。

本校は受験に対して、様々な角度からアプローチしているため、  
紹介文を書くには多くの話題を取り扱う必要があり、  
少し分かりづらかったかもしれません。

しかし、本校の受験に対する熱意が皆様に伝わることを心から願っています。

最後に俯瞰して全てのCOLUMN・Themeの見出しに再び目を通してください。

## 「生徒の自立を促し、自学自習の効率を最大化する塾」

この言葉に本校の理念が濃縮されていると述べた訳、  
そして、本当の意味を御理解頂けたでしょうか？

本校の理念に納得いただける貴方の入塾を  
講師一同、心よりお待ちしております。